

## 第 40 回研究大会プログラム

### 1. 【日程概要】

9月2日(金) 15:00 ~ 17:00 理事会 (小研修室 3A)

9月3日 (土)					9月4日 (日)					
10:30 - 11:30	情報交換会 (304)				9:00 - 11:55	研究発表 II (午前の部)				
11:30 -	受付開始				会場	304	309	310	311	
12:20 - 12:50	総会(304)				9:00 - 9:15	[22]	[25]	[28]	賛 助 会 員 展 示	
13:00 - 14:30	特別講演(310)				9:20 - 9:35	[23]	[26]	[29]		
14:30 - 14:45	写真撮影(310)				9:40 - 9:55	[24]	[27]	[30]		
14:50 - 17:25	研究発表 I				10:00 - 10:15	[31]	[35]	[39]		
会場	304	309	310	10:20 - 10:35	[32]	[36]	[40]			
14:50 - 15:05	[1]	[5]	[9]	10:40 - 10:55	[33]	[37]	[41]			
15:10 - 15:25	[2]	[6]	[10]	11:00 - 11:15	[34]	[38]	[42]			
15:30 - 15:45	[3]	[7]	[11]	11:20 - 11:35	[43]	[45]	[47]			
15:50 - 16:05	[4]	[8]	[12]	11:40 - 11:55	[44]	[46]	[48]			
16:10 - 16:30	展示閲覧・休憩				12:00-13:20	昼休み・展示閲覧				
16:30 - 16:45	[13]	[16]	[19]	13:20 - 13:35	/	/	[49]			
16:50 - 17:05	[14]	[17]	[20]	13:45 - 14:45	フォーラム					
17:10 - 17:25	[15]	[18]	[21]	14:50 - 14:55	閉会行事(310)					
17:50 -	懇親会受付				*15:00 - 17:00 全国プレコン実行委員会 (研修室A)					
18:00 - 20:00	懇親会 (D棟 9F さくら)									

### 【Schedule】

Sep.3 (Sat)		Sep.4 (Sun)	
10:30 - 11:30	Info. exchange meeting (R304)	9:00 - 9:55	Presentations (No.22 - No.30)
11:30 -	Start accepting	10:00 - 11:15	Presentations (No.31- No.42)
12:20 - 12:50	General meeting (R304)	11:20 - 11:55	Presentations (No.43- No.48)
13:00 - 14:30	Special lecture (R310)	12:00 - 13:20	Lunch
14:30 - 14:45	Commemorative Photo (R310)	13:20 - 13:35	Presentations (No.49)
14:50 - 16:05	Presentations (No.1 - No.12)	13:45 - 14:45	COCET Forum (R310)
16:10 - 16:30	Recess	14:45 - 14:55	Closing ceremony ( R310)
16:30 - 17:25	Presentations (No.13 - No.21)	*15:00 - 17:00 Executive Committee of the Presentation Contest (R3A)	
18:00 - 20:00	Banquet (Restaurant "Sakura" at 9F of the Lodging Bld.D)		

6. 【研究発表 I】 9月3日（土） 14:50 ～ 17:25

発表 10分（予鈴 8分、終鈴 10分）、質疑 5分、入替 5分  
 Presentation 10min (first bell 8min, closing bell 10min), Q&A 5min, Time for moving 5min.

\* 代表発表者名のみ記載してあります。共同発表者は、発表要旨をご覧ください。

304 号室		
司会 竹田恒美（東京）		
14:50	[1] 高専生が文学を学ぶ意義－国際化教育の観点から－	松田奏保（苫小牧）
15:10	[2] 本校における国際交流事業の紹介－英語学習におけるモチベーションについて－	岡田晃（小山）
15:30	[3] 工学専攻の学生が参加するインターンシップにおける英語で課されるタスクについて	樫村真由（東京）
15:50	[4] 熊本高専におけるグローバル高専事業取組報告	岩下いずみ（熊本）
休憩・展示閲覧		
司会 武田淳（仙台名取）		
16:30	[13] 英語授業における理工系 OER の活用	青山晶子（富山本郷）
16:50	[14] CLIL(内容言語統合型学習法)を用いた専門科目授業の実践	飯島淑江（沖縄）
17:10	[15] Creation and Use of Video Authentic Materials using ICT	David Taquet(函館)

309 号室		
司会 藤井数馬（沼津）		
14:50	[5] 木更津工業高等専門学校における COGET2600 を活用した語彙学習の実践報告－科目を横断した取り組みにおける語彙定着の効果の検証－	瀬川直美（木更津）
15:10	[6] 語彙教材作成に向けた基礎的研究－TOEIC の単語分析－	八鳥吉明（群馬）
15:30	[7] 高専生の英語語彙サイズの検証	久保田佳克 （仙台広瀬）
15:50	[8] 自動フラッシュカードによる語彙力の向上	岡田美鈴（北九州）
休憩・展示閲覧		
司会 亀山太一（岐阜）		
16:30	[16] 点の学びを面にかえる英語授業－ESD への発展を目指して－	市川裕理（豊田）
16:50	[17] 環境保全技術者育成のための英語学習システム案	南優次（宇部）
17:10	[18] 補習を寺小屋形式で：英語力の向上と自学自習の習慣づけ	森岡隆（和歌山）

310 号室		
司会 阿部恵（八戸）		
14:50	[9] 中四国地区高専外国語カリキュラムの調査と考察	青砥正彦（米子）
15:10	[10] 多様なニーズへの対応－英語教育におけるサレジオ式アシステンツァの紹介－	真島顕子（サレジオ）
15:30	[11] 新学科一期生に対する英語指導－学科再編に伴う授業改善の取り組み	堀登代彦（苫小牧）
15:50	[12] BACE/ACE テスト及び TOEIC IP 結果の一考察－佐世保高専低学年授業を振り返って－	大里浩文（佐世保）
休憩・展示閲覧		
司会 大森誠（呉）		
16:30	[19] 英語音読モニタリングの自律化－音読道場の開設－	奥崎真理子（函館）
16:50	[20] 筋力トレーニングから始める英語発音教授法－ハミング8メソッド Step1-5 教授法実例－	嵯峨原昭次（鹿児島）
17:10	[21] 長野高専における低学年学生を対象とした英会話指導実践	山崎健一（長野）

7. 【懇親会】 9月3日(土) 18:00 ~ 20:00 (D棟9階 レストランさくら)

8. 【研究発表Ⅱ】 9月4日(日) 午前の部 9:00 ~ 11:55 午後の部 13:20 ~ 13:35

発表 10分(予鈴 8分、終鈴 10分)、質疑 5分、入替 5分  
Presentation 10min (first bell 8min, closing bell 10min), Q&A 5min, Time for moving 5min.

\* 代表発表者名のみ記載してあります。共同発表者は、発表要旨をご覧ください。

304 号室		
司会 奥崎真理子(函館)		
9:00	[22] 高専の特色に配慮した「高専生のための英語教科書」の開発	亀山太一(岐阜)
9:20	[23] 苫小牧高専に於ける英語学カテストの展開について	東俊文(苫小牧)
9:40	[24] TOEIC English における授業実践	川又加代子(東京)
司会 服部真弓(松江)		
10:00	[31] アジアの高校生との国際会議 Student Forum 2016 に向けた取り組みと参加報告ー低学年向け国際交流事業と英語授業の連携を目指してー	前田哲宏(奈良)
10:20	[32] 学内をコンテキストとした国際交流の評価	石貫文子(熊本八代)
10:40	[33] 海外短期派遣プログラムの展望と課題	阿部恵(八戸)
11:00	[34] 高専における海外研修の問題と可能性	穂本浩美(明石)
司会 南優次(宇部)		
11:20	[43] ネイティブスピーカーと学生の発声データ比較による英会話教育の研究	關良之(仙台広瀬)
11:40	[44] 音読タスク中心の英語が学習者の英文記憶能力・英語学習意識にどのような影響をあたえるか	渡辺眞一(北九州)

309 号室		
司会 森和憲(香川詫間)		
9:00	[25] 高専2年生に対するアウトプット帯活動の実践とライティングプロダクトの検討	鈴木章子(米子)
9:20	[26] 英語 WI におけるアクションリサーチ: 文法説明を出来るだけ省いた TASK 中心の授業へ	成田智子(奈良)
9:40	[27] Blended Learning for First Year (Listening and Speaking) Classrooms	Tomek Ziemba(大分)
司会 瀬川直美(木更津)		
10:00	[35] 英語多読を4技能型活動につなぐミニブリオバトル	藤井数馬(沼津)
10:20	[36] 英語多読の影響	今村一博(神戸)
10:40	[37] 高専入学直後における英語学習に対する自律度と「読むこと」への意識の関係	大森誠(呉)
11:00	[38] オーラル・アプローチによる英語授業の改善(3)	高越義一(富山本郷)
司会 井上英俊(明石) 司会		
11:20	[45] Constructing an ERP lab for Language Acquisition Research at Tsuyama College	Eric Rambo(津山)
11:40	[46] Getting the most from your CALL classroom	David James MARSH(和歌山)

310号室		
司会 渡辺眞一(北九州)		
9:00	[28] Collaborate, Create and Communicate: Teaching Presentation Skills in Class	COOPER Todd (富山射水)
9:20	[29] スキットを活用したコミュニケーション活動	臼田悦之(函館)
9:40	[30] 木更津高専における英語教育体系―「特別学修(TOEIC:eラーニング初級)」の導入等―	小澤健志(木更津)
司会 森岡隆(和歌山)		
10:00	[39] 機械翻訳で出力される英文はどの程度正確か	佐竹直喜(岐阜)
10:20	[40] 英文法授業における能動的学習の試み―2 クラス合同授業を視野に入れて―	市川研(香川高松)
10:40	[41] 外国語学習とプライマリー・メタファーの理解	沖本正憲(苫小牧)
11:00	[42] 英作文課題から見える英文法習得に関する考察	関文雄(熊本八代)
司会 青山晶子(富山本郷)		
11:20	[47] 認知文法の英語教育への応用―品詞の概念的定義を中心に―	井口智彰(大島商船)
11:40	[48] 形容詞の指導～リメディアル教育の観点から～	熊谷健(東京)
昼食・展示閲覧		
13:20	[49] 高専低学年における反転授業の導入と展開	武田淳(仙台名取)

9. 【フォーラム】 9月4日(日) 13:45～14:45 (310)

英語で英語を教える: 「英語ができる」エンジニア育成のための事例報告と意見交換

コーディネーター 森 和憲 (香川高専詫間キャンパス)

パネリスト 渡辺 眞一 (北九州高専)・山村 啓人 (富山高専射水キャンパス)

平成28年の1月と3月に、平成27年度国立高専機構英語教育高度化推進のための「英語科目担当教員向け英語教授力向上研修」が高専機構主催で開催された。これは「英語で英語を教える」ことに特化した研修会であり、ブリティッシュカウンシルによるTeacher Training Courseの一部を用いて、のべ4日間行われた。本フォーラムでは、研修を受講した英語教員が、その後に勤務校で行った授業とそこで得られた知見や問題点を報告し、オーディエンスとの意見交換を行う。

【COCET Forum】 Sep.4 (Sun.) 13:45～14:45 (R310)

Teaching English in English in KOSEN: Reports and discussions on English lessons for future global engineers

Coordinator: Mori Kazunori (Kagawa) Panelists: Watanabe Shinichi (Kitakushu), Yamamura Hiroto (Toyama)

N.I.T. head quarter held the teachers' workshop for 'Teaching English in English' in January and March in 2016. The aim of the workshop is to encourage Japanese teachers of English to use as much English as they could in their classroom. In this forum, three teachers will introduce how their ways of teaching have changed after the workshop, and discuss to what extent the new method is applicable to the lessons by other KOSEN teachers.

10. 【閉会行事】 9月4日(日) 14:50～14:55 (310)